

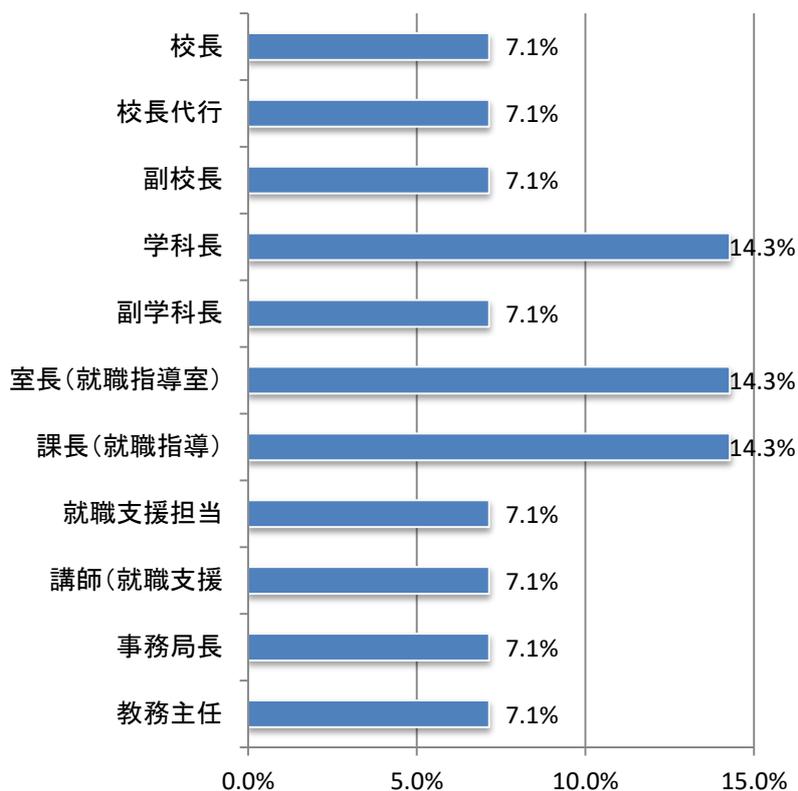
一般社団法人全国専門学校情報教育協会(調査委員会)
就職支援・指導に関するアンケート調査

- 調査時期
令和3年8月3日～令和3年8月23日
- 発送数 70 件(校)
- 回答数 14 件
- 協力校数 13 校
- 回答率 18.6 %

就職支援・指導に関するアンケート

回答者プロフィール

S.no	項目	回答	%
1	校長	1	7.1%
2	校長代行	1	7.1%
3	副校長	1	7.1%
4	学科長	2	14.3%
5	副学科長	1	7.1%
6	室長(就職指導室)	2	14.3%
7	課長(就職指導)	2	14.3%
8	就職支援担当	1	7.1%
8	講師(就職支援)	1	7.1%
8	事務局長	1	7.1%
9	教務主任	1	7.1%
	合計	14	-

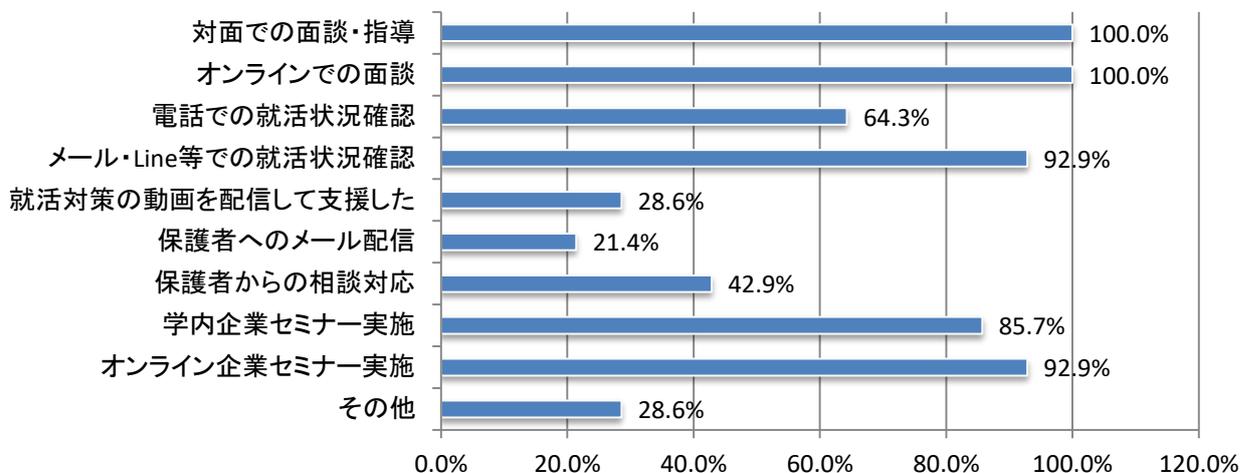


就職支援・指導に関するアンケート

学生への就職支援・指導で実施したものを教えてください

S.no	項目	回答	%
1	対面での面談・指導	14	100.0%
2	オンラインでの面談	14	100.0%
3	電話での就活状況確認	9	64.3%
4	メール・Line等での就活状況確認	13	92.9%
5	就活対策の動画を配信して支援した	4	28.6%
6	保護者へのメール配信	3	21.4%
7	保護者からの相談対応	6	42.9%
8	学内企業セミナー実施	12	85.7%
9	オンライン企業セミナー実施	13	92.9%
10	その他	4	28.6%
	合計	14	-

分母・・・14



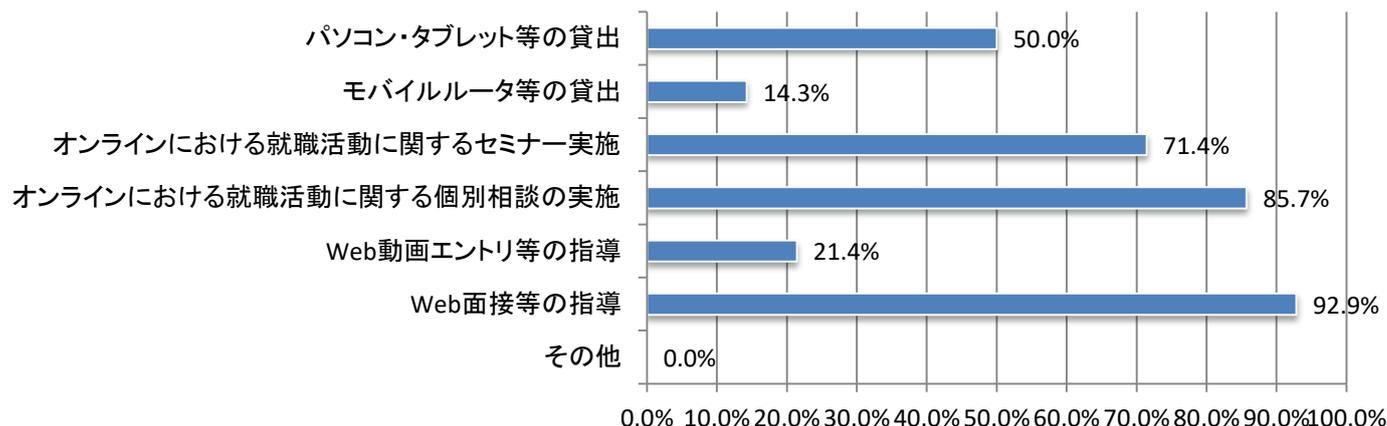
その他の内容

AI自己分析、放課後のオンラインサロンの開催(就職相談に限らず参加可能)、活動中の学生を集めたガイダンス、保護者への電話・手紙送付、三者面談(学生、保護者・担任)、模擬面接の実施

企業の採用活動のオンライン化に伴う対応について、実施したものを教えてください

S.no	項目	回答	%
1	パソコン・タブレット等の貸出	7	50.0%
2	モバイルルータ等の貸出	2	14.3%
3	オンラインにおける就職活動に関するセミナー実施	10	71.4%
4	オンラインにおける就職活動に関する個別相談の実施	12	85.7%
5	Web動画エンタリ等の指導	3	21.4%
6	Web面接等の指導	13	92.9%
10	その他	0	0.0%
	合計	14	-

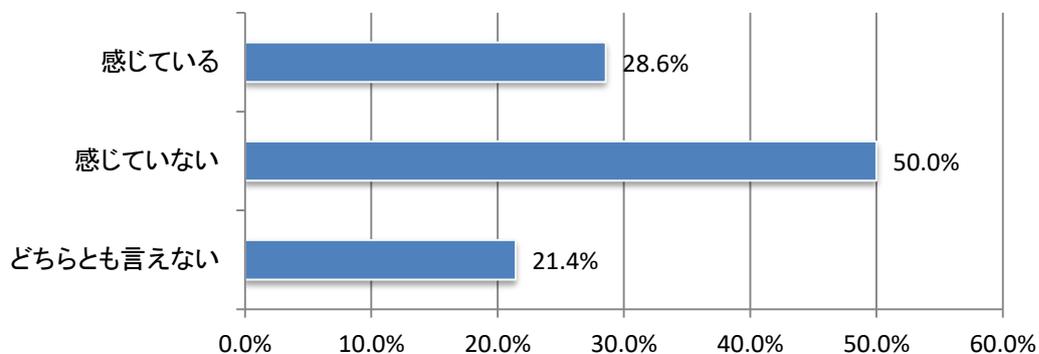
分母・・・14



就職支援・指導に関するアンケート

リモートによる就職活動について、学生は抵抗を感じていると思われませんか

S.no	項目	回答	%
1	感じている	4	28.6%
2	感じていない	7	50.0%
3	どちらとも言えない	3	21.4%
	合計	14	-

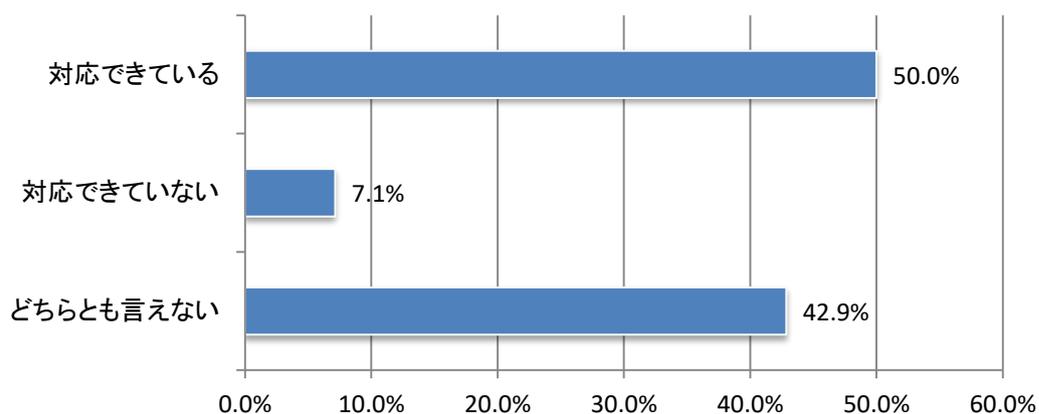


「①感じている」とご回答の方にお伺いします どのような点に抵抗を感じていると思われませんか

- ・オンライン上の理解度不足や、コミュニケーションがとりにくいため
- ・説明会、面接時のカメラを見ての対応が難しい。(視線が画面にいつってしまう)
- ・質問をしたくても、その場の雰囲気がわかりにくく、質問をしないことが多い。
- ・説明会は、対面であれば緊張感もあり集中できるが、オンラインは集中力が途切れてしまう。
- ・対面とは違う方法について戸惑いを感じている
- ・オンラインに慣れていない

リモートによる就職活動に学生は対応できていると感じられますか

S.no	項目	回答	%
1	対応できている	7	50.0%
2	対応できていない	1	7.1%
3	どちらとも言えない	6	42.9%
	合計	14	-



「②できていない」とご回答の方にお伺いします どのような点が対応できていないと思われませんか

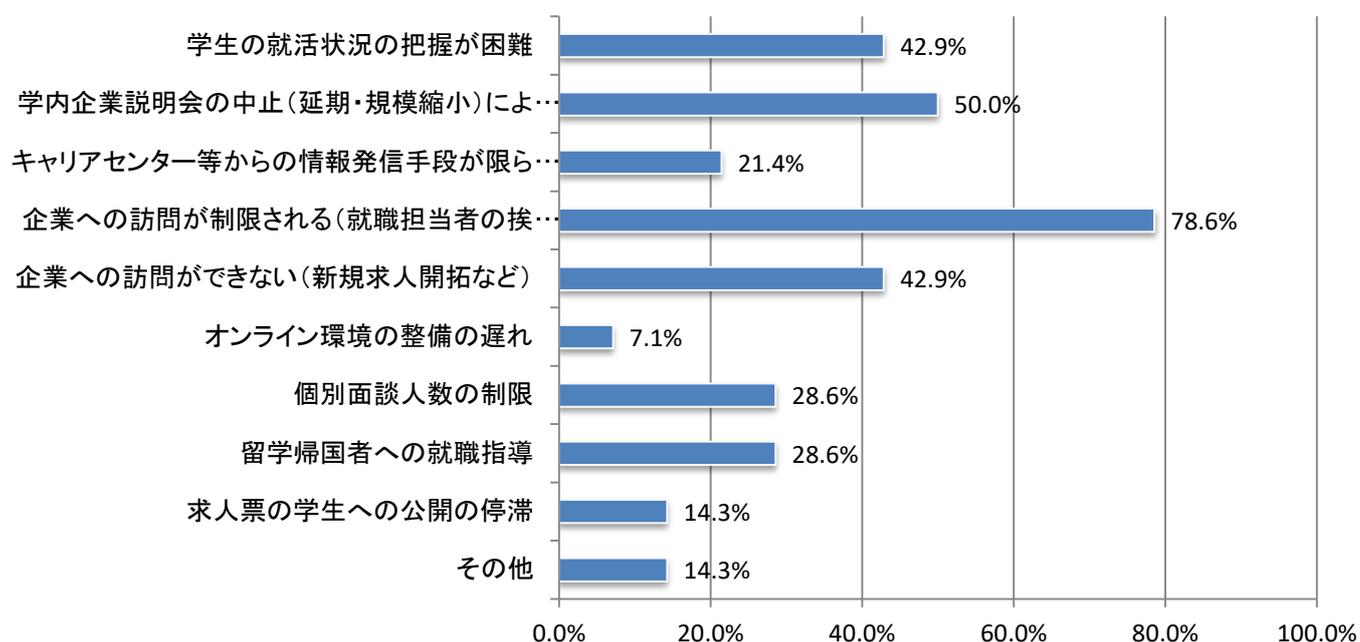
- ・説明会、面接時のカメラを見ての対応が難しい。(視線が画面にいつってしまう)
- ・質問をしたくても、その場の雰囲気がわかりにくく、質問をしないことが多い。
- ・説明会は、対面であれば緊張感もあり集中できるが、オンラインは集中力が途切れてしまう。
- ・十分ではない。特に所作や面接に関する事項は十分とは言えない
- ・対面希望の学生が多い

就職支援・指導に関するアンケート

コロナ禍における就職支援・指導の課題について、該当するものにチェックをしてください(複数回答可)

S.no	項目	回答	%
1	学生の就活状況の把握が困難	6	42.9%
2	学内企業説明会の中止(延期・規模縮小)による機会損失	7	50.0%
3	キャリアセンター等からの情報発信手段が限られる	3	21.4%
4	企業への訪問が制限される(就職担当者の挨拶、学生の企業訪問など)	11	78.6%
5	企業への訪問ができない(新規求人開拓など)	6	42.9%
6	オンライン環境の整備の遅れ	1	7.1%
7	個別面談人数の制限	4	28.6%
8	留学帰国者への就職指導	4	28.6%
9	求人票の学生への公開の停滞	2	14.3%
10	その他	2	14.3%
	合計	14	-

分母・・・14



その他の課題

- ・オンライン対応とオフライン(対面)対応の両方の指導や対策が必要のもと、例年より指導時間が必要となっている。
- ・クリエイター系在籍の学生はポートフォリオ指導が就職活動とその成果に直結するため、オンラインでの指導に限界を感じている。

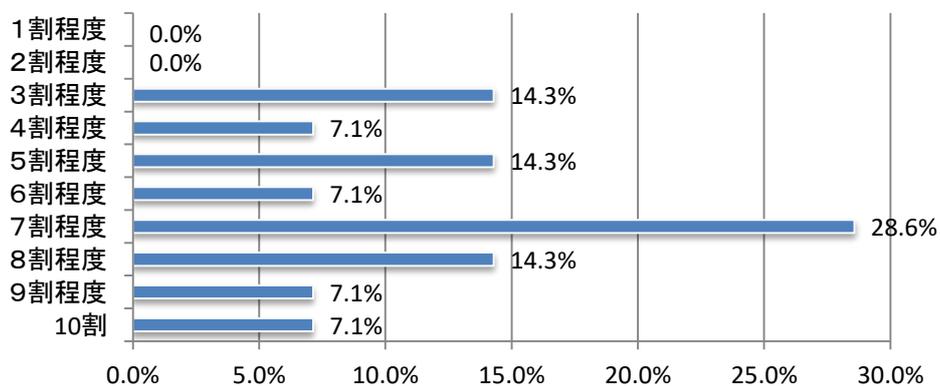
コロナ禍の学生就職支援・指導でご意見があれば、お聞かせください

- ・専門学校生として、コロナ前までは受験ライバル視していなかった地域の大学生(特に文系)と対等に争う能力(2才の年齢差を吸収できる力(経験値))が試されていると実感。これまで以上に「専門学校生対象合同説明会」のような催しの仕掛けが多数開催できればと考えます。
- ・当初は戸惑いもありましたが、昨年度の経験を活かし今年度はスムーズに対応できていると思います。
- ・コロナ禍で合同企業説明会の機会の減少やオンラインでの企業説明会が主流となってきていることで、自発的に動ける学生と動けない学生との就職活動の進み方の格差がさらに開いているように感じる。オンライン上の情報をキャッチするには、学生自身が意欲を持たなくては情報を見ても通り過ぎてしまい、行動が起こせない。就職活動でももちろんだが、主体的に動くことが社会に求められている人材だということの指導を続けていく。

就職支援・指導に関するアンケート

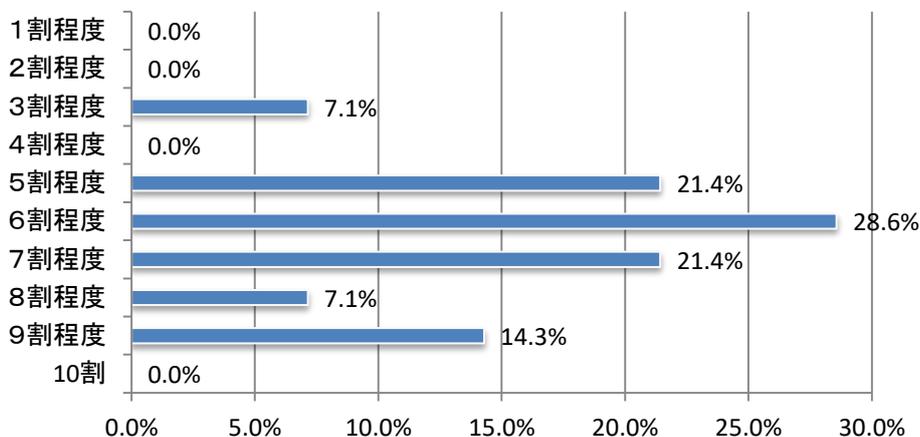
リモートによる会社説明会の割合はどの程度ですか(何割程度とご回答ください)

S.no	項目	回答	%
1	1割程度	0	0.0%
2	2割程度	0	0.0%
3	3割程度	2	14.3%
4	4割程度	1	7.1%
5	5割程度	2	14.3%
6	6割程度	1	7.1%
7	7割程度	4	28.6%
8	8割程度	2	14.3%
9	9割程度	1	7.1%
10	10割	1	7.1%
	合計	14	-



リモートによる面接はどの程度の企業が実施していますか(何割程度とご回答ください)

S.no	項目	回答	%
1	1割程度	0	0.0%
2	2割程度	0	0.0%
3	3割程度	1	7.1%
4	4割程度	0	0.0%
5	5割程度	3	21.4%
6	6割程度	4	28.6%
7	7割程度	3	21.4%
8	8割程度	1	7.1%
9	9割程度	2	14.3%
10	10割	0	0.0%
	合計	14	-



入社後、リモートワークを要件とする求人はどの程度ありますか(何割程度とご回答ください)

S.no	項目	回答	%
1	無し	5	35.7%
2	1割程度	2	14.3%
3	2割程度	1	7.1%
4	3から4割程度	1	7.1%
5	不明	2	14.3%
6	未回答	3	21.4%
	合計	14	-



リモートワークを要件にする求人の職種に特徴はありますか

- ・インターネットビジネス関連の企業(クラウドサービスを含む)
- ・特に感じない(深い付き合いのある企業には導入に踏み切れていない)
- ・なし
- ・特にございません
- ・リモートワークあまり聞きません
- ・IT関係の開発職(常駐する客先の体制によって)

これまでお聞きしたこと以外にコロナ禍の学生就職支援・指導について、ご意見などがあればお聞かせください

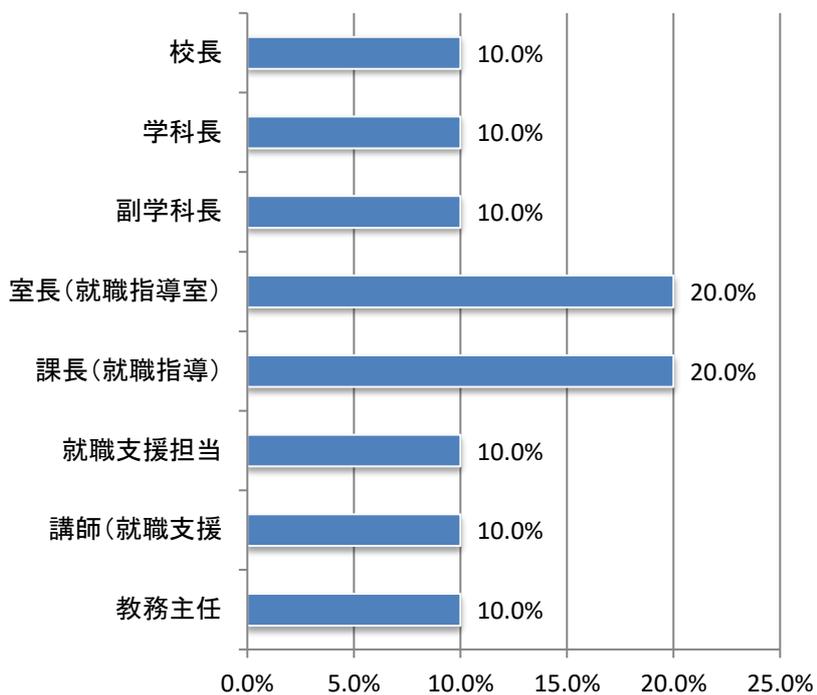
- ・面接教習などは、基本動作や身振り手振りについての指導も入れる必要があるので、リモート出の限界を感じる。
- ・学生指導についてはある程度対応できるようになってきましたが、採用企業側の情報があれば伺ってみたい。例えばリモートのみで採用した学生の特徴や対面採用との違いなど。
- ・特になし
- ・すべてオンラインで内定に至ってしまうのはやや不安を感じる、エージェントが発表する大学生の内定状況とは違い現実は厳しめ

就職支援・指導に関するアンケート

(IT業界求人アンケート調査)

回答者プロフィール

S.no	項目	回答	%
1	校長	1	10.0%
2	学科長	1	10.0%
3	副学科長	1	10.0%
4	室長(就職指導室)	2	20.0%
5	課長(就職指導)	2	20.0%
6	就職支援担当	1	10.0%
7	講師(就職支援)	1	10.0%
8	教務主任	1	10.0%
	合計	10	-

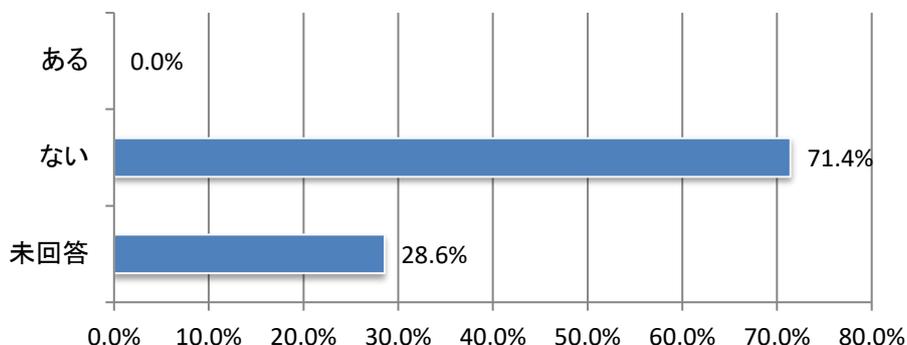


就職支援・指導に関するアンケート

(IT業界求人アンケート調査)

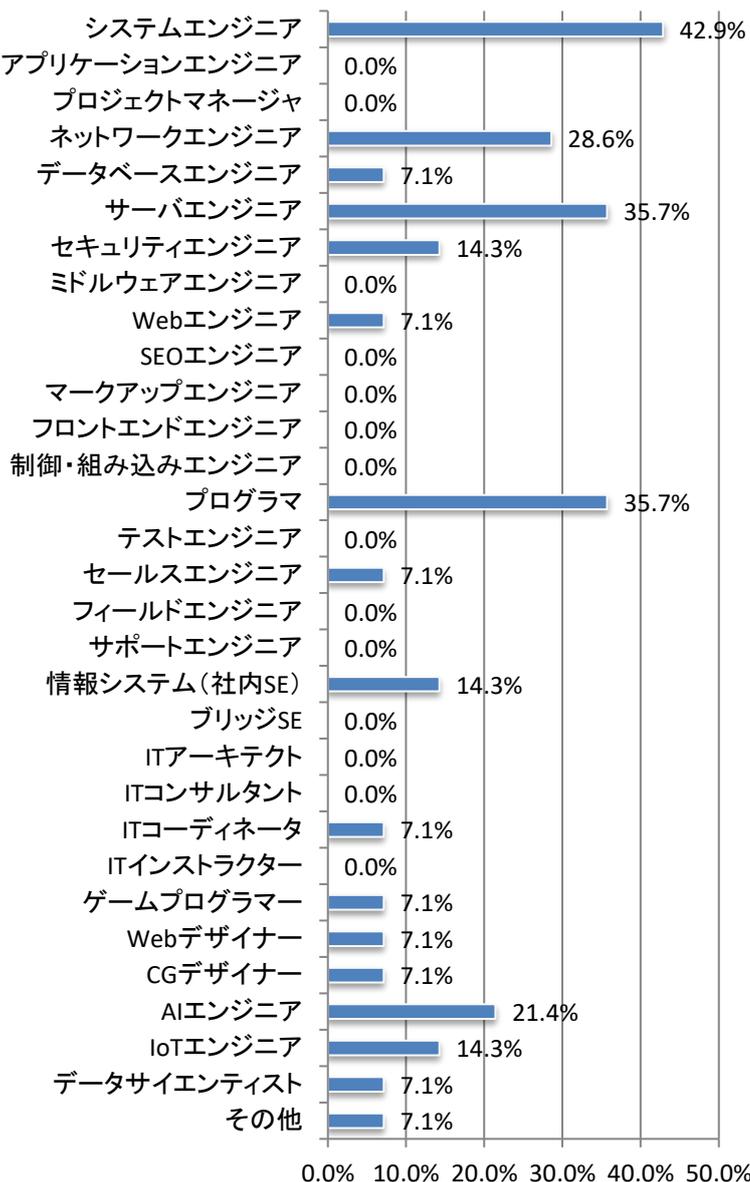
情報系学科への求人についてお伺いします。これまでにない「業界」からの求人はありましたか。

S.no	項目	回答	%
1	ある	0	0.0%
2	ない	10	71.4%
3	未回答	4	28.6%
	合計	14	-



ここ数年で求人が増加傾向にある職種はありますか。ある場合は該当する職種を選択してください。(複数回答可)

S.no	項目	回答	%
1	システムエンジニア	6	42.9%
2	アプリケーションエンジニア	0	0.0%
3	プロジェクトマネージャ	0	0.0%
4	ネットワークエンジニア	4	28.6%
5	データベースエンジニア	1	7.1%
6	サーバエンジニア	5	35.7%
7	セキュリティエンジニア	2	14.3%
8	ミドルウェアエンジニア	0	0.0%
9	Webエンジニア	1	7.1%
10	SEOエンジニア	0	0.0%
11	マークアップエンジニア	0	0.0%
12	フロントエンドエンジニア	0	0.0%
13	制御・組み込みエンジニア	0	0.0%
14	プログラマ	5	35.7%
15	テストエンジニア	0	0.0%
16	セールスエンジニア	1	7.1%
17	フィールドエンジニア	0	0.0%
18	サポートエンジニア	0	0.0%
19	情報システム(社内SE)	2	14.3%
20	ブリッジSE	0	0.0%
21	ITアーキテクト	0	0.0%
22	ITコンサルタント	0	0.0%
23	ITコーディネータ	1	7.1%
24	ITインストラクター	0	0.0%
25	ゲームプログラマー	1	7.1%
26	Webデザイナー	1	7.1%
27	CGデザイナー	1	7.1%
28	AIエンジニア	3	21.4%
29	IoTエンジニア	2	14.3%
30	データサイエンティスト	1	7.1%
31	その他	1	7.1%
	合計	14	-



就職支援・指導に関するアンケート

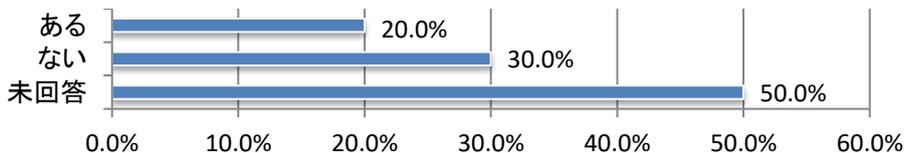
(IT業界求人アンケート調査)

AIエンジニアの求人はどのような業界からが多いですか。

- ・既存の企業からも多い
- ・IT業界
- ・械部品生産などの工業系業界
- ・システム企業の新規分野

AIエンジニアの求人について知識・技術の要件がありますか。

S.no	項目	回答	%
1	ある	2	20.0%
2	ない	3	30.0%
3	未回答	5	50.0%
	合計	10	-



AIエンジニアの求人について知識・技術の要件が「ある」場合、要件をご記入ください

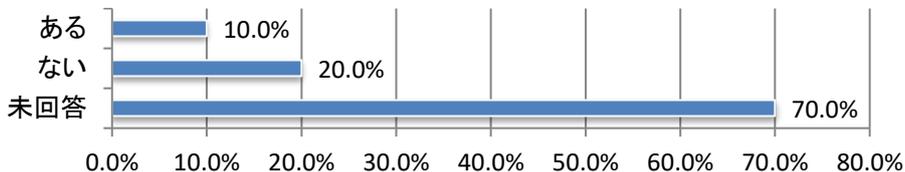
- ・ある企業は統計学知識、プログラミング言語能力、ベンダー系資格等
- ・数学・統計学など

IoTエンジニアの求人はどのような業界からが多いですか。

- ・従来のIT企業と同様
- ・IT業界
- ・機械業界

IoTエンジニアの求人について知識・技術の要件がありますか。

S.no	項目	回答	%
1	ある	1	10.0%
2	ない	2	20.0%
3	未回答	7	70.0%
	合計	10	-



IoTエンジニアの求人について知識・技術の要件が「ある」場合、要件をご記入ください

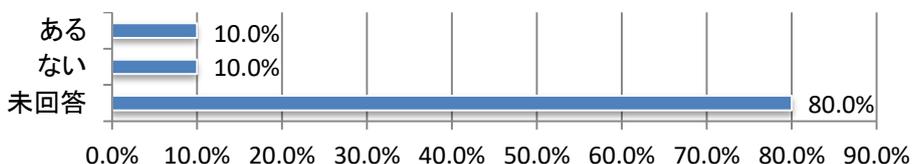
- ・C系言語知識

データサイエンティストの求人はどのような業界からが多いですか。

- ・AIを先進的に取り入れている企業
- ・IT業界(IT業界以外の単一業界から求人があることはほとんどありません)

データサイエンティストの求人について知識・技術の要件がありますか。

S.no	項目	回答	%
1	ある	1	10.0%
2	ない	1	10.0%
3	未回答	8	80.0%
	合計	10	-



データサイエンティストの求人について知識・技術の要件が「ある」場合、要件をご記入ください

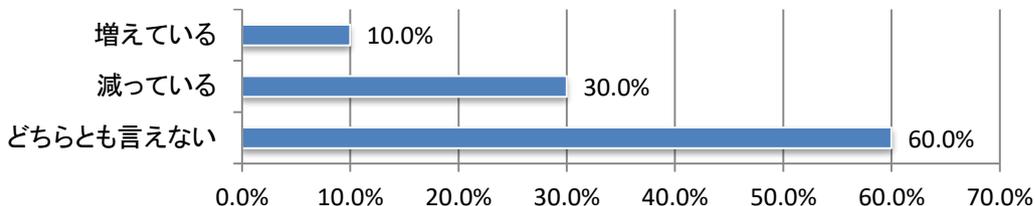
- ・統計学知識、開発知識

就職支援・指導に関するアンケート

(IT業界求人アンケート調査)

企業からの求人票に(もしくは企業採用担当者から学生に対して)、IT系資格の取得を求められるケースは増えていると感じられますか。

S.no	項目	回答	%
1	増えている	1	10.0%
2	減っている	3	30.0%
3	どちらとも言えない	6	60.0%
合計		10	-

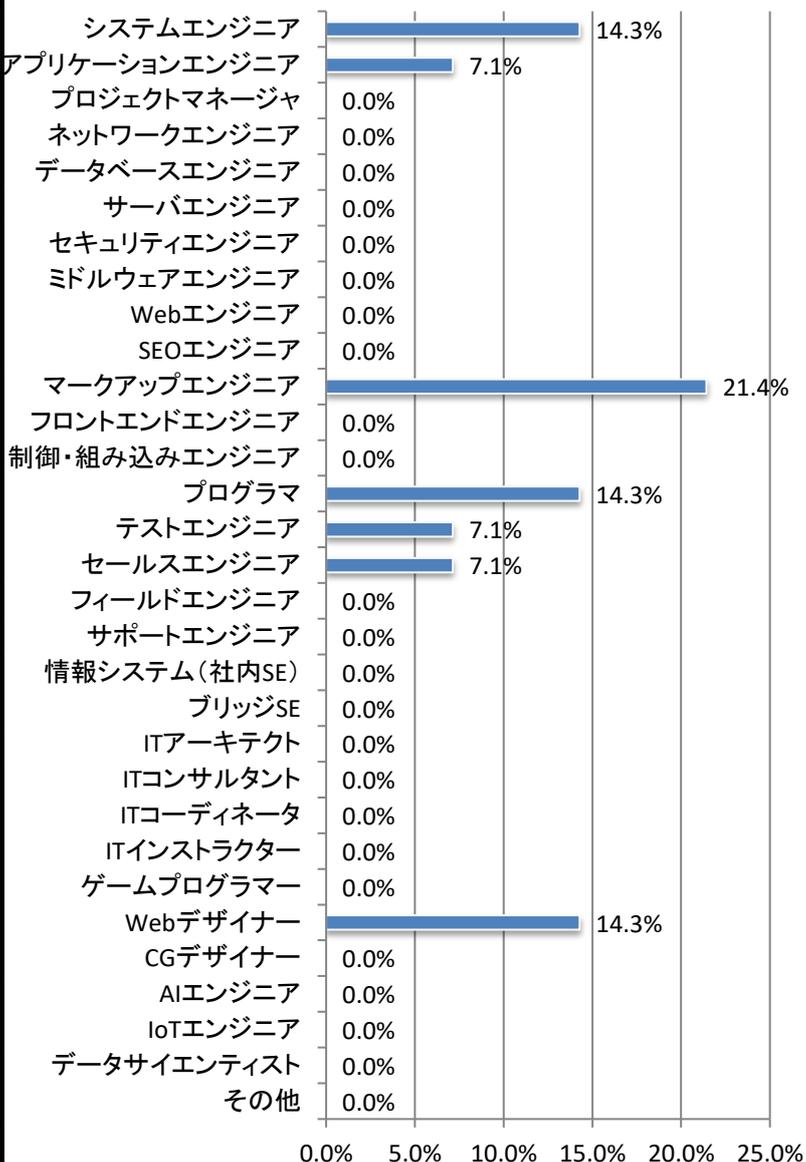


「増えている」とご回答の方にお伺いしますどのような資格の取得を求められるケースが増えていますか

- ・Java
- ・基本情報技術者試験

ここ数年で求人が減少傾向にある職種を選択してください。(複数回答可)

S.no	項目	回答	%
1	システムエンジニア	2	14.3%
2	アプリケーションエンジニア	1	7.1%
3	プロジェクトマネージャ	0	0.0%
4	ネットワークエンジニア	0	0.0%
5	データベースエンジニア	0	0.0%
6	サーバエンジニア	0	0.0%
7	セキュリティエンジニア	0	0.0%
8	ミドルウェアエンジニア	0	0.0%
9	Webエンジニア	0	0.0%
10	SEOエンジニア	0	0.0%
11	マークアップエンジニア	3	21.4%
12	フロントエンドエンジニア	0	0.0%
13	制御・組み込みエンジニア	0	0.0%
14	プログラマ	2	14.3%
15	テストエンジニア	1	7.1%
16	セールスエンジニア	1	7.1%
17	フィールドエンジニア	0	0.0%
18	サポートエンジニア	0	0.0%
19	情報システム(社内SE)	0	0.0%
20	ブリッジSE	0	0.0%
21	ITアーキテクト	0	0.0%
22	ITコンサルタント	0	0.0%
23	ITコーディネータ	0	0.0%
24	ITインストラクター	0	0.0%
25	ゲームプログラマー	0	0.0%
26	Webデザイナー	2	14.3%
27	CGデザイナー	0	0.0%
28	AIエンジニア	0	0.0%
29	IoTエンジニア	0	0.0%
30	データサイエンティスト	0	0.0%
31	その他		0.0%
合計		14	-



分母・・・14

その他

特に減少は感じられません

就職支援・指導に関するアンケート

(IT業界求人アンケート調査)

求人環境の変化において、キャリア支援・就職指導での課題はありますか

- ・求人側も多様な人材を受け入れる傾向ある。その多様の性格に捉え順応するスピードが必要
- ・企業発掘が難しい
- ・オンライン上で説明会や面接が行われる際、自身で主体的に就職活動を進め情報をキャッチすることが重要なので、主体的に動けるよう指導する事。また企業の方に採用試験の時だけではなく説明会や企業訪問の第一印象の時点で、積極性をアピールする事に課題を感じる。

企業選択および面接指導に中心に指導

企業との細かなマッチング

留学生が在籍する学校の方にお伺いします。留学生へのキャリア支援、就職指導での課題はありますか

- ・言葉・文化の違い
- ・留学生の受け入れ可能とさせていただきます企業と留学生の就労ビザが下りる要件がマッチしない点。(単純作業や建設業など)
- ・学生が希望する職種や勤務地の指導
- ・日本語力向上と適性試験対応
- ・日本語能力と日本でのビジネスマナーについて
- ・オンラインだと日本語力が伝わりづらい

その他、IT業界の求人について、ご意見・求人の傾向等があればご記入ください

- ・IT企業求人にかかわらずですが、コミュニケーション能力を重視されている中、IT企業を目指す学生はおとなしい傾向の学生が多い。能力が高くて自己表現やアピールが苦手なため採用試験を突破することに苦労している。